

よこはまユースレター

発行／公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
URL <http://www.yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

よこはまユースの経営方針 (平成 25 年度～ 29 年度) 策定中

青少年たちを取り巻く環境の厳しさが指摘されるようになってからずいぶんと時が経つものの、なかなか改善につながりません。

こんな時こそ地域パワーの出番です。こんな時こそ、青少年たちの力を育むときです。

大人が変わる! 青少年が変わる !! — 青少年を守る地域づくりと人材育成

- 青少年と大人が顔の見える関係を持てる地域人材を育成
- 青少年地域活動拠点への運営支援、交流事業

達成感・自己肯定感を育てるチャンス! — 体験機会の提供

- キャンプ、グループワーク、ボランティア活動などさまざまな体験事業を提供

また利用したくなる!! — 指定管理施設の運営管理

- 野島青少年研修センターは、使いやすい施設利用予約と利用者サービス向上でリピーターを増やせ!
- 青少年交流センターと青少年育成センターは機能連携し相乗効果アップ。育成センターで青少年指導者育成研修を実施し、交流センターで研修成果の実践トレーニング。青少年に向き合う地域の大人活動を支援。

そのほか、組織・経営基盤強化(人材育成、寄附金、企業 CSR)、情報発信、広報・宣伝力を強化します。

※「よこはまユース経営方針」は 3 月 27 日開催の法人理事会で承認されることを条件とします。



青少年交流センター開館 10 周年

横浜市青少年交流センター(愛称:ふりーふらっと野毛山)は、平成 24 年 12 月 1 日に 10 周年を迎えました。設立当初から、斬新かつ青少年の視点に立った運営を目指してきました。現在、青少年はもちろん、子どもから大人まで年間約 14 万人の方々にご来館いただいています。

3 月 24 日(日)、交流センターにおいて、長年にわたり支えていただいた皆様をお招きし、10 周年記念式典を開催します。駒澤大学の萩原建次郎教授の記念講演や交流会を実施し、新たな展望を語り合います。ぜひお越しください。



権太坂小放課後キッズクラブ 新法人へバトンタッチ!

25 年度からは、地域で子どもたちを育てることを目的に設立した、特定非営利活動法人権太坂小キッズサポートが次期運営法人として決定いたしました。現スタッフが新法人で活動を続けます。よこはまユースは継続して運営の支援を行ってまいります。

活動レポート

「知っておきたい! 子ども・若者どこでも講座」

青少年を取り巻くさまざまな問題を、広く市民の方々に理解・認識してもらうための啓発活動です。「子どもとの関わり方」「インターネットと携帯電話」「性感染症問題」「非行問題」「薬物問題」といった思春期問題をテーマとした講演会・研修会等に講師を無料派遣しています。



24 年度は、学校、PTA、青少年育成団体、青少年指導員、民生委員など地域で青少年に関わる団体 30 件以上のご利用がありました。25 年度以降も、地域の皆様からの依頼に応じた適切なコーディネート进行を心がけ、青少年問題の理解と認識を広げるお手伝いを続けていきたいと思っています。お気軽にご相談ください。

【お問合せ】事業課 tel. 045-662-4170 fax. 045-662-7645

URL http://yokohama-youth.jp/announce_kodomo/
Eメール jigyoka@yokohama-youth.jp

横浜市青少年育成センター

シンポジウム「子ども・若者を支える地域を目指して」

(12月15日)

サブテーマを「学校と地域との連携、居場所づくり」として、子ども・若者を支える地域活動者3人をパネリストに招いて意見交換を行いました。65人の参加者が「子どもの頃にお世話になった大人」「地域」のイメージについて考え、「学校を含めた“地域のつながりの中での育ち”のために大人たちが立ち上がるう！」ということを確認しました。



横浜市野島青少年研修センター

野島クリスマスキャンプ 2012

(12月8～9日)

市内の小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒が、青年ボランティアと一緒に食事づくりや湯呑の絵付け体験など盛りだくさんの1泊2日を過ごしました。



マンドリン演奏や保護者の手作りケーキ、歌のプレゼントもあり、子どもも大人も笑顔がいっぱいでした。

※共催：野島クリスマスキャンプ実行委員会

横浜市青少年交流センター

「青少年の居場所づくり」全国フォーラム 2013

(2月16・17日)

8回目となる今回のテーマは『青少年の居場所、その先へ』。学校卒業後の青少年の現状、そして彼らの居場所について取り上げました。

1日目は基調講演『知りたい、平成を生きるこども、若者』とパネルディスカッションを、2日目の分科会のうち第2分科会では黄金町エリアマネジメントセンターさんの協力で黄金町駅周辺の街づくりを見学。



放課後キッズクラブ

伝統的な「海苔づくり」を体験

(2月23日)

南部市場で、本町小・能見台小・秋葉小・桜井小・浦島小・瀬ヶ崎小の6キッズ合同で実施。特定非営利活動法人とともに浜をつくる会のメンバーや地元の漁師さんのご指導で、網から海苔を摘んで・きざんで・すいて・干して…。「パチパチ」、海苔が乾くときの音を聞いたのも初めてでした。できた海苔はお土産に。



● ありがとうございました ●

第52回 爆笑！濱っ子寄席

(12月5日、関内ホール)



約730人のお客様にお楽しみいただき、大盛況のうちに終了することができました。ひとえにご来場いただいた皆様をはじめ、当事業を支えてくださった多くの方々のご協力の賜物と深く御礼申し上げます。当事業の収益は、次代の横浜を担う青少年の成長を支援する活動などに活用させていただきます。

※差引収益：577,865円(税引前)

※会場内募金額：96,077円

平成25年新春のつどい (1月31日、ホテル横浜ガーデン)

終始なごやかな雰囲気の中、法人の事業報告のほか、青少年交流センター10周年のあゆみを振り返り、日頃から法人を支えていただいている皆様に感謝をお伝えし、親睦を深めていただいた、ひとときでした。



寄附金情報コーナー

平成25年4月から、ユース賛助会員制度を正式に発足させます。

◆ 寄附金振込口座

口座記号 00200-4 口座番号 82730
加入者名 公益財団法人よこはまユース

◆ ユース賛助会費 1口3,000円(団体5,000円)

※平成25年4月受領分から、寄附金協力者・団体名を法人ホームページの寄附金コーナーでご紹介します(匿名希望可)。

※平成25年分寄附金から、寄附金控除等の税制上の優遇措置を受けるための「寄附金受領証明書」を毎年1月に発行します。※寄附金にはユース賛助会費を含みます。

【平成24年度特定寄附金受領状況】 (H25.2.28現在)

野島クリスマスキャンプ 48,000円

ハートフルスペース事業 29,000円

早期支援SSTプログラム事業 40,000円

公益財団法人よこはまユースは所得税法施行令第217条第3号及び法人税法施行令第77条3号に掲げる公益財団法人であり、青少年育成の公益に著しく寄与する法人です。